

令和5年(2023年)度年間授業計画表									
学年	3	科・系	オープン	単位	2	教科	農業	科目	生物活用
使用教材	生物活用(実教出版)								
学習目標		① 体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に着ける。 ② 課題を発見し、農業に携わるものとして合理的・創造的に解決する力を養う。 ③ 生物の特性を活用し、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。							
単元と内容									
1 学期	第3章 動物の飼育と活用 動物を扱う際の留意点 マの飼育と活用	ウ	人獣共通感染症・家畜伝染病予防法について						
			ウマの飼育と活用について、うま・うさぎの管理の仕方の実習						
			ウマの引き方の練習						
2 学期	第3章 動物の飼育と活用 動物と人間生活 うさぎ 飼育と管理	1 うさぎ 犬の	私たちの暮らしと動物について						
			動物がもたらす効果について・動物の活用について						
			うさぎの飼育について						
			犬の飼育管理について						
3 学期	第3章 動物の飼育と管理 又の飼育と管理	イ	犬の飼育管理について						
評価									
評価の観点			評価の趣旨						
①	知識・技能		社会動物の活用に関する基礎的な知識を身につけ、それらの特性を活用した活動を理解する。また、基本的な技術を身につけその技術を適切に活用する						
②	思考・判断・表現		社会動物の活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基本的な技術と知識を基に、課題を適切に判断し、合理的に解決し、表現する能力を身につける						
③	主体的に学習に取り組む態度		興味・関心を持ち、課題の探究に意欲的に取り組み、課題を解決しようとする実践的な態度を身につける						
評価方法	①		②		③			年間時数	
								予定	
	プリント学習のまとめ 作業のレポート 発問に対する発言や行動の観察		質問に答えさせる プリント学習のまとめ テストで問題に答えさせる		質問に答えさせる 発問に対する発言や行動などを観察する ノートのまとめを評価する			59 時間	
								1単位＝35H	
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献							